



きたまち

わたしたちは“北海道の暮らしたいまち オンリーワンづくり”を目指します

一般社団法人 北海道まちづくり協議会

2022年度活動報告書



目次

一般社団法人 北海道まちづくり協議会
2022年度活動報告書 (2022.4.1～2023.3.31)

[2022年度 活動テーマ]

地方都市のまちづくりの課題を探る～コロナ禍を契機とした新しいまちづくり～

■ ごあいさつ 	01
■ 主な年間活動 	02
■ まちづくり支援事業 	07
■ 交流研修事業 	17
■ 情報広報関連事業 	22
■ 組織・役員 	23
■ 会員一覧 	24

ごあいさつ



一般社団法人北海道まちづくり協議会
会長 能戸 裕之

地方都市のまちづくりの課題を探る ～コロナ禍を契機とした新しいまちづくり～

平素より当協議会の事業活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度の事業計画は、昨年度に引き続き、『地方都市のまちづくりの課題を探る～コロナ禍を契機とした新しいまちづくり』と『10周年記念事業の実施』を活動テーマに掲げ、その展開に全力で取り組んでまいりました。

依然として新型コロナウイルスの影響が広がる中で、予測困難な状況に直面しながらも、コロナ禍で得た経験を活かし、柔軟性と創意工夫をもって事業を展開できたことに感謝申し上げます。皆様のご協力と理解があってこそ、新たなまちづくりの方針を模索し、実践することができたのではないかと考えています。

同時に、協議会としての10周年を迎え、その特別な節目にふさわしい記念事業を計画し、10周年記念誌の発行や事業事例視察会を実施することができました。これらの事業は、皆様のご理解とご協力に支えられ、協議会の歴史と未来への展望を共有する素晴らしい機会となりました。

この報告書は、2022年度の活動内容を総括したものでございます。会員の皆様におかれましては、是非ご一読いただき、今後とも当協議会の事業活動に一層のご理解とご協力、そしてご参加を賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

理事会等会議開催状況				
総 会	第1回通常総会	5月25日	会場：かでの2.7 820研修室	
理 事 会	第1回 理 事 会	5月13日	会場：緑苑ビル 201会議室	
	臨 時 理 事 会	5月25日	会場：かでの2.7 810研修室B	
	第2回 理 事 会	10月25日	会場：緑苑ビル 201会議室	
	第3回 理 事 会	3月30日	会場：緑苑ビル 201会議室	
理事会の 電磁的決議 (定款第34条第2項 に基づく)	第1回 決 議	6月7日	恵み野地区まちづくり支援研究会 設置	
	第2回 決 議	6月14日	小樽駅前第一ビル周辺地区再開発支援研究会 設置	
	第3回 決 議	6月20日	入会承認	
	第4回 決 議	9月20日	入会承認	
業 務 執 行 会 理 事 会	第 1 回	4月27日	会場：北3東11地区再開発組合事務所	
	第 2 回	10月19日	会場：協議会事務所	
	第 3 回	3月22日	会場：協議会事務所	
常務理事会	第 1 回	4月13日	会場：協議会事務所	
	第 2 回	10月5日	会場：YAM 建築計画事務所	
	第 3 回	3月8日	会場：協議会事務所	
事業企画会議	第 1 回	5月23日	会場：(株)ソフトスケープ事務所	
	第 2 回	2月16日	会場：(株)ソフトスケープ事務所	

環境取組事業
地域の環境保全に貢献することを目的に、令和4年度の事業収入の1%程度を活用し、環境や自然保全などに取り組む公益的団体に寄付。支援等を実施する事業として、まちづくりの推進を目的とするさぽーとほっと基金に1万円の寄付を実施。

他団体会議への出席	
北海道建築設計会議	1回出席 /6回開催 リモート会議



3月30日 第3回 理事会



5月23日 第1回 事業企画会議

2022年度 通常総会 令和4年5月25日 会場: かでる2.7 820研修室

令和4年5月25日(月) 17時30分より、かでる2.7 820研修室において、「令和4年度通常総会」を開催しました。

49名(委任状出席含む)に出席いただきました。

2022年度通常総会では、2021年度の事業報告、2021年度の収支決算報告について審議され、承認されました。

また、本年度は役員改選期であることから、理事監事についても審議され第6期(2024年度通常総会終了時まで)の理事幹事が決定しました。その後、臨時理事会を開催し、新しい理事監事により役員構成が決定しました。

当協議会10周年記念事業として、1年がかりで編纂を進めてきた10周年記念誌『みんなたら』を配布しました。



令和5年 新年交礼会 令和5年2月3日 会場: 中村屋旅館

令和5年2月3日(金)中村屋旅館にて、一般社団法人北海道まちづくり協議会の令和5年新年交礼会を開催しました。

今回はコロナ禍がようやくおさまり3年ぶりの開催となりました。久々に会える機会ということもあり総勢50名という、多くの皆様にご参加いただきました。

会に先立ち、昨年11月に急逝されました当協議会相談役の吉岡宏高様のご冥福をお祈りし、黙祷を行いました。

能戸会長の挨拶、阿部理事の乾杯で始まり、会の半ばで新常務理事・田中氏、同じく川尻氏からまちづくりに対する当協議会の役割についてお話しをいただきました。また、新会員となる岩倉建設(株)様からも今後の当協議会に対する意気込みなどについてスピーチをいただきました。

中メは岡本副会長による一丁締めで交流会をしめくくりました。

最近、当協議会の行事は参加者が多く、締切を待たずに定員となるケースが増えてきました。事務局及び担当部会としてはより多くの会員様が参加できるよう努力してまいります。



10周年記念事業【10周年記念誌発行】

2022年4月25日・18:30より、株式会社ソフトスケープ事務所において6名が参加し、北海道まちづくり協議会設立10周年記念事業の一環として発行する記念誌『みんたら』の第5回の記念誌編集委員会を開催しました。

編集も最終的な段階に入り、原稿の誤字脱字や、記念誌全体を通した表記漏れの有無等をメンバーで分担し確認しました。また、冊子がよりわかりやすいものとなるよう、用語の説明や注釈の追加が必要な箇所について話し合いました。

10周年記念誌『みんたら』は令和4年5月13日に完成し、会員及び関係団体等に贈呈しました。



10周年記念誌編集会議



10周年記念誌『みんたら』

10周年記念事業【熊本市桜町地区第一種市街地再開発事業視察見学会】

当協議会では設立10周年を記念し、2022年10月4日、熊本県熊本市で行われた桜町地区第一種市街地再開発事業「サクラマチ クマモト」の見学会を開催しました。

参加者は予想を上回るご応募をいただき29名と、大変有意義な見学会を開催できました。

第一種市街地再開発事業が施行された桜町地区は、熊本市の中心市街地に位置し、熊本城とは数分の距離に在り、市域におけるバス交通の拠点として機能してきた地区です。

既存バスターミナルの老朽化、中心市街地の活性化を目的に平成27年の事業認可を経て熊本桜町再開発株式会社により第一種市街地再開発事業が施行されました。（事業完了は令和3年）

見学会では、事業で整備された熊本城ホールの会議室にて、事業にご尽力なされた熊本市の担当者、事業コンサルタント担当者から事業に関する説明等をいただきました。

熊本市は、当初は桜町地区だけではなく道路で挟まれた向かい側となる花畑地区も事業化について検討を進めており、双子の再開発を想定していました。しかし、時代の流れ、経済状況の変化により花畑地区は事業化を断念、再開発事業としては桜町地区一本に絞って進められました。

しかし、熊本市は事業化ができなかった花畑地区において、熊本市で取得した建物を解体、桜町地区との中間にある道路を廃道にし、広場として整備しました。

この広場では、中心市街地の活性化に寄与する様々なイベントを展開し、市民の賑わいの場として機能しているだけではなく、熊本城と隣接する立地から観光客なども憩う空間としても機能しているとのことでした。

また、今後はこの広場空間をより充実させるため、もう一本の道路も廃道する予定とのことで、桜町地区を中心に商業だけではなく、広場による賑わい、交流の空間を地区全体として形成していきたいとのことで、熊本市にとっても大変重要な事業であることが説明を通して伝わってきました。

事業コンサルタントを担った川端氏からは、市街地再開発事業特有の保留床処分の難しさ、商業地であることからテナント交渉の困難さなど事業に携わった方でなければ語れないさまざまな事柄をお話いただきました。



まちづくり支援事業部会開催状況

活 動	概 要	開催日	会 場	参加者数
第1回ミーティング	令和4年度の活動について	8月10日	北3東11再開発組合事務所	10名

まちづくり支援事業の実施状況

事業計画		実施状況
名 称	開催想定等	
市町村相談事業	1市町村訪問	1回実施
講師派遣事業	随時開催	3回実施
施策勉強会	1回	1回実施
会員交流会	1回	1回実施
実践活動研究会	随時開催	一号研究会は2回開催、二号研究会はクライアント等との協議、意見交換など適宜開催

2022年度・10周年企画 会員交流会

2022年6月23日(木)18:30から、さっぽろビール園において「会員交流会」を実施しました。

本企画は、会員相互交流を目的に、業種・企業を越えた「ヨコのつながり」を醸成する場として開催し、31名の参加をいただきました。

申込も順調で、案内発送から約1週間で定員になり、ご希望に添えなかった会員の方々には大変失礼をいたしました。

各テーブルでは、ジンギスカンを囲みながら名刺交換やコロナ禍でなかなか親しく会うことができなかったお互いの様子など様々な話題で盛り上がっていました。

これを機に会員間の交流がさらに広がればと思っています。



まちづくり支援事業部会主催 施策勉強会

2022年11月9日(水) 18:30 から、かでの2.7、940会議室において「施策勉強会」を実施しました。

“柔軟な手法による土地利用～敷地整序型土地地区画整理のすすめ～”と題し、既成市街地での低利用地や未利用地の有効利用を目的とした「敷地整序型土地地区画整理」について、本年3月に札幌市が発行したガイドブックを用いた勉強会を開催し、講師を含む13名の方に参加いただきました。

講師はガイドブック作成にも関わった(株)中山まちづくり計画舎の中山氏。

土地地区画整理事業の仕組み、公共施設の整備改善の具体例、敷地整序型土地地区画整理事業の説明、市街地再開発事業との違い、事業化に向けた周知・マッチングについて、などを講師から説明いただき、その後、参加者も交えた意見交換を行いました。



韓国視察団「全国市道生涯教育振興院協議会」との意見交換

さる7月、韓国の生涯教育の発展と生涯教育振興院の運営に関して相互間の交流と協力を増進し、共同の問題を協議することを目的とする韓国の「全国市道生涯教育振興院協議会」から、メールにて当協議会に訪問受け入れの打診がありました。

先方は、地域消滅、まちづくり、都市再生など日本の先進事例のベンチマーキング及び国際交流や日本国内の生涯教育関連機関を訪問してネットワーキングの機会を設ける計画で、当協議会のほか、はまなす財団、札幌市生涯学習センターを訪問するとのこと。

訪問打診を受け、関係役員で協議した結果、国際交流の一助になればとの考えから受け入れることとし、まちづくり支援事業部会が主体で説明にあたることとなりました。

訪問日時は令和4年8月23日10時からで、かでの2.7の730研修室に会場を用意。北海道における当協議会活動概要の説明を武井常務理事、中山まちづくり支援事業部会長の2名にて対応しました。

韓国の「全国市道生涯教育振興院協議会」は国の外郭団体のような組織で、その構成員は日本でいう市や県に所属している言わば行政職員となっています。今回20名からなる訪問団で、代表者数名を除きほとんどが若い方で、その半数以上が女性でした。日本、特に北海道はそのあたりが世界水準から遅れをとっていると痛感した次第です。

さて、説明内容ですが、まずは北海道の簡単な紹介で始まり、協議会の目的、構成員、組織体制、3部会の活動概要。活動事例として、研究会、まちづくり研修会、視察会、座談会について、パワーポイントを使用して日本語で解説し、それを同行している通訳者が韓国語に訳して説明する、という手順です。前身の組織から37年、北まちの活動を言わばボランティア（受託業務は除く）でやってきていることに非常に驚かれていたのが印象的でした。

約1時間の説明のあと休憩時間をはさみ、質疑応答では、再開発事業における協議会の関わりは？行政組織の立ち位置は？協議会の運営はどのように？その経費は？北海道ならではのまちづくりとは？韓国も地方の過疎対策が急務だが北海道ではどう対処している？多様な専門家間での意見調整はどのように？などの質問が寄せられ、これまでの協議会での取り組みや業務で経験した事例などを交えて回答しました。

最後に、訪問団代表からの御礼のご挨拶及びお土産を頂き、全員での記念写真撮影など、和やかな雰囲気の中、協議会最初の海外からの訪問客受入を無事終了しました。



再開発マニュアル研究会（一号研究会）

概 要

活動目的 内 容	会員向け、再開発検討地区団体等向けの再開発事業推進のためのマニュアル作成
代 表	能戸裕之
メンバー (14名)	石塚雅弘、押野和也、川瀬浩、川尻雅裕、久新信一郎、坂本行宏、武井秀爾、田中絢人、田中康道、寺内知生、前川公生、横山幹人、山口重則
主 たる 活動場所	北3東11再開発組合事務所
活動期間	2022年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活 動	概 要	開催日	会 場	参加数
1	第1回ミーティング	マニュアル素案の確認と今後の活動テーマについて意見交換	6月16日	北3東11再開発組合事務所	9
2	第2回ミーティング	マニュアル最終原稿の確認と次年度の取組みについて意見交換	2月21日	北3東11再開発組合事務所	9



第1回研究会



第2回研究会

小樽駅前第一ビル周辺地区再開発支援研究会（二号研究会）

概 要

活動目的 内 容	平成29年10月、駅前広場周辺の再開発実現を目的に小樽駅前第1ビルの関係者を中心にその周辺関係者とともに小樽駅前第1ビル周辺地区再開発準備組合を設立し、当協議会は要請によりオブザーバーとして参加しており、その協力もあって、具体的な事業検討が本格化する状況を迎えている。 このことから、当研究会では当該地区再開発事業実現のために再開発準備組合の事務局業務の支援を行う。
代 表	大石章夫
メンバー (12名)	岩波治郎、内山靖久、大友佑介、大場眞一、加賀谷勉、川尻雅裕、武井秀爾、成田靖彦、能戸裕之、藤山三冬、森哲子
主 たる 活動場所	小樽駅前地区
活動期間	2022年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活 動	概 要	開催日	会 場	参加数
1	準備組合理事会	令和3年度報告と令和4年度計画	4月6日	小 樽 駅 前(株)	1
2	ゼネコンG会議	床需要動向の資料作成	4月14日	緑苑ビル201号室	8
3	第0回全体 ミーティング	小樽駅前地区整備支援研究会 前年度活動報告と解散会	4月19日	小 樽 駅 前 ビ ル 会 議 室	16
4	第1回全体 ミーティング	床需要のサウンディング調査報告	7月14日	小 樽 駅 前 ビ ル 会 議 室	12
5	準備組合会議	再開発事業準備作業スケジュール 打合せ	12月13日	小 樽 駅 前(株)	6
6	第2回全体 ミーティング	バスターミナル方針決定と今後の スケジュール	1月27日	小 樽 駅 前 ビ ル 会 議 室	15
7	準備組合会議	病院対策の検討	2月28日	小 樽 駅 前(株)	4

JR琴似駅周辺地区まちづくり支援研究会（二号研究会）

概要

活動目的	JR琴似駅周辺地区では5地区6工区の連鎖型市街地再開発事業が完了し、空中歩廊で連結された約10haのコンパクトシティを形成している。周辺地区では新たなまちづくりの機運が芽生えはじめている為、事業化の支援を目的として研究会を設立する。
代表	川瀬浩
メンバー	宮坂勝文、中山祐二、秋山広、山口重則
主たる活動場所	JR琴似駅周辺地区
活動期間	2022年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活動	概要	開催日	会場	参加数
1	第1回 事業推進会議	今年度の活動について	4月20日	ロイトン札幌	20
2	512の日イベント	屋内型公開空地で音楽ライブを実施	5月7日	イトーヨーカドー琴似店	50
3	第2回 事業推進会議	Aブロックの施設用途について	5月18日	ロイトン札幌	20
4	第3回 事業推進会議	公共貢献施設の考えかたについて	6月15日	ロイトン札幌	18
5	第4回 事業推進会議	公共貢献の可能性についてほか	7月20日	ロイトン札幌	13
6	Kotoni市民参加のまちづくりロビーコンサート Vol.11 2022 Summer	屋内型公開空地で音楽ライブを実施	8月27日	イトーヨーカドー琴似店	70
7	第6回 事業推進会議	公共貢献の整理と各施設用途外	9月21日	ロイトン札幌	17
8	第7回 事業推進会議	公共貢献と施設のまとめ	10月19日	ロイトン札幌	50
9	JR琴似駅前広場イルミネーション点灯式	企画・運営・実施	12月1日	イトーヨーカドー琴似店	90
10	第9回 事業推進会議	今年度の活動、次年度の活動他	2月1日	ロイトン札幌	17
11	第10回 事業推進会議	公共交通のバリアフリー化現地視察	2月15日	琴似まちづくり機構事務所1	11
12	Kotoni市民参加のまちづくりロビーコンサート Vol.14 イルミネーション	屋内型公開空地で音楽ライブを実施	2月21日	イトーヨーカドー琴似店	80

恵み野地区まちづくり支援研究会（二号研究会）

概 要

活動目的 内 容	○ 2013年から2年間、恵み野商店街活性化の業務でまちづくりの支援を行ったが、最近になって、商店街通りの景観に支障をきたす動きが出始めたため、商店街やその周辺の住民に景観を守ろうという機運が生まれ、恵庭市もこれを後押しするため、具体的な支援として当協議会に業務を委託した。その結果、景観を守り持続するための組織を設立する方向であることから、必要と予想されるその後のフォローを目的とする。 ○ 地元の求めに応じて、相談をうけ、適切な助言を行う。
代 表	大石章夫
メンバー (6名)	大場眞一、川尻雅裕、武井秀爾、能戸裕之、森哲子
主 たる 活動場所	恵み野商店街地区
活動期間	2022年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活 動	概 要	開催日	会 場	参加数
1	第1回意見交換会	恵み野街づくりの進め方	4月21日	恵み野会館	4
2	意見交換事前打合せ	協議会設立の進め方	5月11日	恵庭市役所	6
3	第2回意見交換会	協議会設立準備会の発足	5月24日	恵み野憩の家	6
4	準備会事前打合せ	協議会設立の進め方	6月3日	恵庭市役所	4
5	第1回準備会	設立趣意書、会則案の整理	7月7日	恵み野西町内会館	3
6	第2回準備会	設立趣意書、会則案の決定	8月25日	恵み野西町内会館	3
7	協議会設立総会	協議会設立	9月10日	恵み野会館	4
8	協議会臨時総会	まちづくり要領承認	10月10日	恵み野西町内会館	5
9	第2回専門部会	まちづくり協定の進め方	11月1日	ピーコック	3
10	第3回専門部会	説明会の進め方	11月14日	ピーコック	4
11	協議会説明会	協議会・まちづくり要領の説明	11月21日	恵み野会館	6
12	協議会役員会	協定説明の実施状況と課題	2月9日	小ばちゃん	2

マンション建替え支援研究会研究会（一号研究会）

活動内容	近い将来、大きな社会問題になると予想されている「マンション建替え」について、（一社）再開発コーディネーター協会のマンション建替え専門グループと一緒に、技術向上のための事例研究や情報収集を行い、マンション建替えの推進普及に努めるとともに、支援を希望する管理組合に建替えプログラムの現地指導やマンション建替え実施のコンサルティング参加も視野に入れた活動をする。		
代表	武井秀爾	所属者数	19名
活動期間	2022年4月から1年間、活動状況によって更新		
活動状況	開催なし		

駅周辺まちづくり支援研究会（二号研究会）

活動内容	駅前地区の将来像の検討や周辺の土地利用構想など、駅前まちづくり議論の起点となるための勉強会や検討会の開催等について支援する。		
代表	能戸裕之	所属者数	6名
活動期間	2022年4月から1年間、活動状況によって更新		
活動状況	開催なし		

地下鉄駅周辺再開発支援研究会（二号研究会）

活動内容	・地元権利者の意向を踏まえ、施設ボリュームや事業収支など事業の可能性検討を行う。 ・行政とは、再開発事業の内容、地区計画などの都市計画に係わる内容について協議を行う。		
代表	武井秀爾	所属者数	6名
活動期間	2022年4月から1年間、活動状況によって更新		
活動状況	開催なし		



相談事業	
長万部町訪問	新幹線開業を見据えた諸課題について意見交換

講師派遣事業		
(1)	北海学園大学工学部建築学科(都市計画) テーマ:現行制度とその特性2/都市再開発事業と建築 (講師:田中絢人(株)ドーコン)	10月31日
(2)	藤女子大学人間生活学科(まちづくり論) テーマ:まちを再生する/都市再開発事業の仕組みと特徴/具体事例を交えて (講師:田中絢人(株)ドーコン)	11月29日
(3)	長万部町 土地区画整理勉強会(講師:中山祐二 中山まちづくり計画舎)	3月6日

受託事業		
業務名	委託者	概要
恵み野地区まちづくり支援業務	恵庭市 R4.4.18～R5.1.10	まちづくりの支援
(仮称)恵み野商店街景観まちづくり要領策定支援業務	恵庭市 R4.7.4～R5.3.30	景観まちづくり要領策定

会員交流事業			
会員交流会	協議会設立10周年企画の一環として、会員相互交流会を実施	6月23日	30名

施策勉強会				
施策勉強会	札幌市における敷地整序型区画整理に関わる勉強会	11月9日	かでの2.7	13名

その他事業			
視察団来訪	韓国「全国市道生涯教育振興院協議会」に対し、当協議会の活動概要説明や道内のまちづくりへの取り組みに関する意見交換を実施。	8月23日	北まち:2名 訪問団:20名

交流研修事業部会開催状況

活動	概要	開催日	会場	参加者数
第1回交流部会会議	年度事業計画及び打合せ	6月1日	緑苑ビル・北まち事務所	7名
第2回交流部会会議	学生車座トーク及び現場見学会及びまち研について	6月28日	緑苑ビル・北まち事務所	5名
第3回交流部会会議	まち研について	10月12日	緑苑ビル・北まち事務所	6名

交流研修事業の実施状況

事業	開催内容	開催日	会場	参加者数
学生車座トーク	講師に協議会会員の川尻氏、大島氏及び恵庭市役所 屋仲氏をお迎えし開催。参加学生は6名	7月27日	北海学園大工学部	10名 (講師含む)
第1回会員情報交流会(視察会)	北8西1再開発事業 見学会	7月25日	施工JV事務所	40名
まちづくり研修会	今年度は商店街振興に着目して開催。講師はたじみDMOの小口氏を招いた。その後、小口氏、恵み野商店街・小笠原氏を交え、北海道科学大学濱谷教授の進行のもと意見交換会を行う構成とした。	11月24日	かでの2.7820研修室	49名
第2回会員情報&交流会(事業視察会)	狸小路2丁目に昨年オープンした屋台村「狸COMICHI」の事業説明及び現地視察会を事業主である(株)フジタの廣川氏、石黒氏を招いて開催した。	2月14日	事業説明会・松崎ビル及び現地	26名 (講師含む)



第2回交流部会会議



第1回交流部会会議

2022年度 第1回 会員情報交流会 ～北8西1地区第一種市街地再開発事業 現場見学会～

令和4年7月25日(月)にJR札幌駅北口方面において建設が進められている「北8西1地区第一種市街地再開発事業」の現場見学会を、当協議会会員、若手技術者及び学生の知識向上と会員相互の交流及び親睦を図ることを目的に行われました。事業主体である札幌駅北口8・1地区市街地再開発組合様のご協力のもと、総勢40名程の参加でした。募集2日後には定員の9割が埋まるほど人気の見学会で、この事業の注目度がうかがい知れます。



この事業は札幌駅北側の北8西1地区において実施されている事業で、現在、低層部に商業施設、中

高層部に住居である超高層マンションの他、14階建てのホテルやオフィス棟、自走式立体駐車場、更に地下鉄東豊線「さっぽろ駅」に接続する地下通路を建設中です。

今回の見学会では、まず組合事務局と本事業のコーディネーターである日本設計から、本事業の発足から今日そして竣工までの流れの説明がありました。

続いて特定業務代行者の大成建設から、今回日本で初めて導入された「テコアップシステム」を始め、施工の特色についての説明をしていただきました。

本工法の特徴としては大きく分けて次の3点あげられます。

- ①1フロアごとのタワークレーンのクライミングが可能
- ②小型サイズクレーンで施工可能
- ③工期短縮によるコスト削減とCO₂排出量の削減が可能

このシステムを用いると1フロアを施工するのにわずか5日しかかからず、施工速度の速さが最大の特徴となっています。

現場見学では、高層部の住宅フロアを見学させていただきました。当日は天気も良く、札幌中心地を展望することができました。全面が開口となっているコーナー部はリビングとなる予定で、開放感のある空間となっていました。22階以上はすべて入居が決まっており、大人気の物件となっていることです。

今回の見学会で、札幌中心地のランドマークのひとつになりうる建築物の最先端の技術を間近に見学できたことは、参加した皆様にとって貴重な体験になったことと思います。



2022年度 技術者車座トーク @ 北海学園大学

令和4年7月27日(水)に、北海学園大学工学部校内において「技術者車座トーク」を開催しました。本会は建築学科に所属する学生さんに向け、建築に関する多種多様な職業について知っていただき、今後の就職活動や社会人生活に活かしてもらうことを目的に実施し、6名の学生さんがご参加くださいました。

[講師]

川尻 雅裕 氏(株式会社都市総合鑑定・不動産鑑定士)

大島 有史 氏(熊手フィールド株式会社)

屋仲 めぐみ 氏(恵庭市役所建設部都市整備課)

講師の皆さんには、現在の仕事内容や就職活動時の経験談、学生時代の過ごし方や参加した学生さんへのメッセージなどお話しいただきました。

その後は、北海学園大学・岡本教授の進行による質疑応答に移り、オブザーバー役で複数ご参加いただいた同大学の先生も交え、講師の方々それぞれの立場からみた地域とのつながりや建築業界との向き合い方などについて議論が交わされました。

学生さんからも積極的に率直な質問が投げかけられ、有意義な機会が提供できたと思います。



講師 川尻雅裕氏



講師 大島有史氏



講師 屋仲めぐみ氏

令和4年度まちづくり研修会

令和4年11月24日(木)に、かでの2.7、820研修室にて、令和4年度まちづくり研修会を開催しました。新型コロナ第8波の中、感染予防対策をとり、約50名の方々にご参加いただきました。

《講演者》

小口 英二氏(たじみDMO COO)

小笠原 剛氏(恵み野商店街100年街並み協議会 会長)

濱谷 雅弘氏(北海道科学大学 未来デザイン学部 人間社会学科 教授)

今年度の研修会のテーマは「北海道における既存商店街の新たな取り組みを考える」と題し、衰退が続く既存商店街のあり方について、空き店舗の活用を中心に再生に向けた可能性を探りました。

冒頭、商業振興に関する制度説明として、経済産業省北海道経済産業局の惣田芽衣氏より、商店街の空き店舗活用や人材育成に有効な施策の紹介をいただきました。



講師 小口英二氏



写真左より 小笠原氏、小口氏、濱谷氏

基調講演は、岐阜県多治見市のたじみDMO・COOの小口氏より、「中心市街地×商店街・多治見モデルのまちづくり」と題し、多治見市の既存商店街にて注力されてきた空き店舗のリノベーション事業やまちのプレーヤー発掘に向けた事業などについてご講演いただきました。写真を交えた資料と、小口氏の明快な語り口で大変分かりやすく、かつ有用な内容となっております。

後半は、恵庭市の恵み野商店街100年街並み協議会会長である小笠原氏を迎え、北海道科学大学の濱谷教授をコーディネーターに3名での意見交換会を行いました。

恵み野商店街100年街並み協議会は、今年9月に発足したばかりであり、今後は空き店舗対策などに取り組むこととなっています。今回は、組織の初動期に考えるべきことや資金源の見つけ方、行政との付き合い方などについて議論が交わされました。



2022年度第2回会員情報交流会～「狸COMICHI」事業紹介説明会及び施設視察会～

令和5年2月14日(火)に、令和4年度第2回会員情報交流会を開催しました。今回は、札幌市中心部に位置する狸小路商店街の一角にて、長年空き地となっていた場所に新たにオープンした「狸COMICHI」を事例に、事業主の株式会社フジタに商店街の魅力創出や活性化に向けた取り組みについて説明いただき、現地視察会を行いました。

「狸COMICHI」は昨年8月、狸小路商店街の2丁目にオープンしました。当地は5年以上空き地となっており、開業にあたっては地権者の方の「にぎわいスペースを作ってほしい」というやり取りがもとになっているそうです。株式会社フジタはこれまで東京「JINGUMAE COMICHI」や富山「SOGAWA BASE」で屋台村をテーマにした飲食店街を手掛けた実績があり、狸小路の歴史や北海道の魅力を伝える拠点の構想に至ったとのことでした。

施設は2階建となっており、1階の商店街側入り口には狸神社が鎮座しています。また、施設内には狸神輿の常設展示や昔の狸小路をバーチャル体験できるスペースが設けられています。狸神社や狸神輿を配置する際のエピソードは大変興味深い内容でした。



施設内では18店舗が営業していますが、各店舗の広さは屋台村のイメージにこだわり、5坪程度としているとのことでした。同時に、出店側がお店を出しやすくするねらいもあるそうで、実際に店舗募集の際には3倍ほど応募があったとのことでした。

情報広報関連事業部会開催状況

活動	概要	開催日	会場	参加者数
情報広報関連事業部会	部会活動について	随時	メール会議	全部会員
情報広報関連事業部会	第5回「北まち THE 座談会」の企画検討会議	10月27日	北まち事務所	7名
情報広報関連事業部会	第5回「北まち THE 座談会」の企画検討会議	11月29日	北まち事務所	6名
情報広報関連事業部会	第5回「北まち THE 座談会」の企画検討会議	12月21日	北まち事務所	5名

情報広報関連事業の実施状況

事業	実施内容
ホームページ	活動ブログを随時更新
メールマガジン	会員に向けて随時発信（協議会メールインフォメーション）
2021年度 年間活動報告書作成	2022年8月1日 北まちホームページにアップ



10月27日 情報広報関連事業部会部会 会議



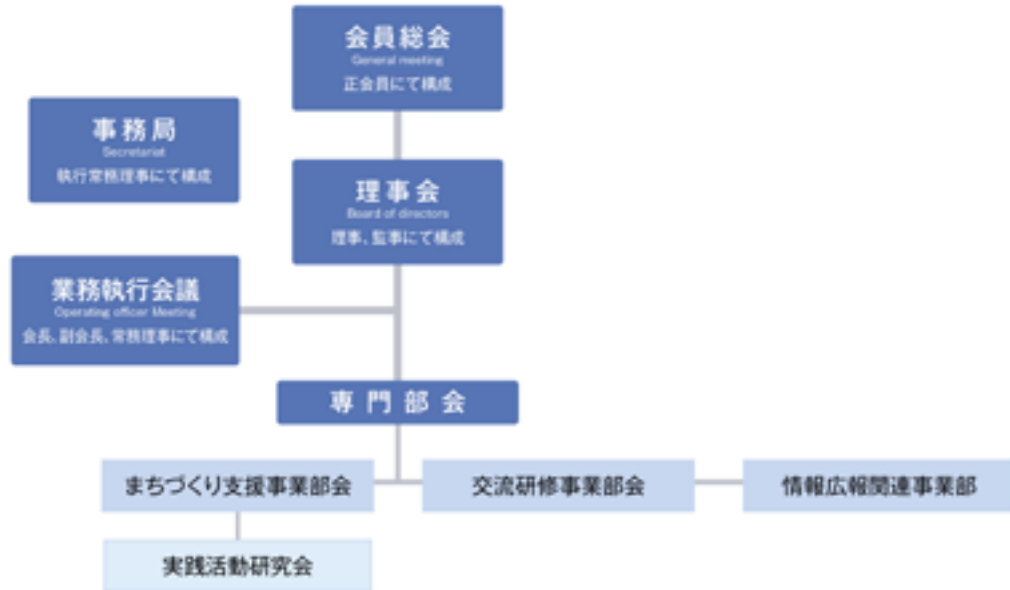
11月29日 情報広報関連事業部会部会 会議



11月29日 情報広報関連事業部会部会 会議

■ 組 織

2023年3月31日現在



■ 専門部会事業内容

(1) まちづくり支援事業 各分野に関する調査研究、支援、提言	◎地域再生、コミュニティの形成・再生
	◎まちの産業再生・活性化、まちマネジメント
	◎多様な分野との連携をいかしたまちづくり
	◎再開発やマンション建替え事業
	◎実践活動研究会 ◎受託支援事業 ◎まちづくり支援相談
(2) 交流研修事業	◎まちづくりゼミ ◎会員情報交流会 ◎まちづくり研修会等の実施
(3) 情報広報関連事業	◎ホームページ、メールインフォメーション等による情報発信・広報

■ 役 員

特 別 顧 問	大 石 章 夫	有限会社大石 R 計画 代表取締役
顧 問	森 哲 子	株式会社クオリアット 代表取締役
顧 問	大 場 眞 一	個人正会員
相 談 役	濱 谷 雅 弘	北海道科学大学 未来デザイン学部 教授
会 長	能 戸 裕 之	有限会社ジョブコム 代表取締役
副 会 長	岡 本 浩 一	北海学園大学工学部建築学科 教授
常 務 理 事	川 尻 雅 裕	株式会社都市総合鑑定 代表取締役
常 務 理 事	川 瀬 浩	株式会社豊多 総合計画部長
常 務 理 事	高 森 篤 志	株式会社ソフトスケープ 代表取締役
常 務 理 事	武 井 秀 爾	武井計画 代表
常 務 理 事	田 中 康 道	弁護士法人札幌英和法律事務所 弁護士
常 務 理 事	山 口 重 則	YAM 建築計画 主宰
理 事	阿 部 公 一	株式会社ドーコン 取締役常務執行役員 都市・地域事業本部長
理 事	石 川 勝 利	一般財団法人日本不動産研究所北海道支社 支社長
理 事	岩 田 徳 夫	岩田地崎建設株式会社 取締役専務執行役員
理 事	渡 辺 淳	伊藤組土建株式会社 執行役員営業本部 副本部長
監 事	横 山 幹 人	株式会社北海道鑑定 代表取締役

■ 事業部会長

まちづくり支援事業部会	中 山 祐 二	株式会社中山まちづくり計画舎 代表取締役
交 流 研 修 事 業 部 会	内 山 靖 久	岩田地崎建設株式会社 第二営業部 部長
情報広報関連事業部会	押 野 和 也	日本データーサービス株式会社企画部 課長

【法人正会員】

2023年3月31日現在

	会 員 名
1	株式会社アークデザイン
2	株式会社アトリエアク
3	株式会社アーレックス
4	アルファコート株式会社
5	伊藤組土建株式会社
6	岩倉建設株式会社
7	岩田地崎建設株式会社
8	有限会社大石 R 計画
9	株式会社クオリアット
10	熊手フィールド株式会社
11	弁護士法人札幌英和法律事務所
12	札幌通運株式会社
13	清水建設株式会社北海道支店
14	有限会社ジョブコム
15	株式会社シン技術コンサル
16	株式会社ズコーシャ
17	住友不動産株式会社北海道事業所
18	株式会社鈴木東建
19	有限会社ステージ
20	セコム株式会社
21	株式会社セダー
22	セントラルリーシングシステム株式会社
23	株式会社ソフトスケープ
24	株式会社大京北海道支店
25	大成建設株式会社
26	タイムズ 24 株式会社
27	大和ハウス工業株式会社 北海道支社 北海道マンション事業部

【個人正会員 税理士・技術士等】

	会 員 名
1	司法書士・行政書士中嶋成美事務所
2	中村和雄税理士事務所 中村 和雄
3	有限会社ニシダ測量

	会 員 名
28	株式会社タカラレーベン
29	株式会社ドーコン
30	株式会社東京ソイルリサーチ札幌支店
31	東京美装北海道株式会社
32	株式会社都市総合鑑定
33	株式会社トラストコンサルティング
34	株式会社中山まちづくり計画舎
35	日本国土開発株式会社札幌営業所
36	株式会社日本設計
37	日本データーサービス株式会社
38	一般財団法人日本不動産研究所北海道支社
39	一般社団法人日本メインストリートセンター
40	株式会社バンテック
41	株式会社フージャースコーポレーション
42	株式会社フジタ北海道支店
43	株式会社豊多
44	北海道印刷企画株式会社
45	北海道ガス株式会社
46	株式会社北海道鑑定
47	街制作室株式会社
48	丸彦渡辺建設株式会社
49	株式会社宮川建設
50	株式会社宮坂振興社
51	明和地所株式会社
52	株式会社山下設計 北海道支社
53	有限会社ワイズデザイン アンド マネージメンツ
54	和光技研株式会社

【個人正会員 個人事業主】

	会 員 名
4	エイチオーデザイン 法邑 悟
5	ききあう堂 主宰 長野 円
6	武井計画 代表 武井 秀爾
7	ミチロー・キカク 主宰 小林 道郎
8	YAM 建築計画 主宰 山口 重則

【個人正会員 一般】

2023年3月31日現在

	会 員 名
9	一戸 勝巳
10	大場 眞一
11	岡本 浩一
12	葛西 政一
13	片岡 道宣
14	菅野 克
15	後藤 健夫
16	佐藤 市郎

17	堂 善之
18	富山 哲也
19	中村 清司
20	西間 敏幸
21	濱谷 雅弘
22	深澤 照一
23	藤山 三冬
24	松井 泰友
25	吉村 廣

【賛助会員】

	会 員 名
1	恵み野商店会
2	まちづくり会社小樽駅前ビル株式会社

【特別会員】

	会 員 名
1	岩見沢市
2	恵庭市
3	雄武町
4	音更町
5	長万部町
6	帯広市
7	倶知安町
8	訓子府町
9	士幌町
10	せたな町
11	滝川市

	会 員 名
12	千歳市
13	当別町
14	苫小牧市
15	苫前町
16	ニセコ町
17	登別市
18	函館市
19	東川町
20	紋別市
21	利尻町
22	稚内市

2022 年度末現在の会員数							計
正会員	法人	54	賛助会員	2	特別会員	22	103
	個人	25					

地域に根ざしたまちづくりに求められる「4つの分野」

1 組織化

地域に根ざしたまちづくりを進めるため、ビジョンを共有し行動力を伴う協力関係をまちのなかに構築することです。



2 デザイン

まちなみ景観、建築ファサードや屋外広告物、道路附帯設備等、地域内の物理環境を、まちのイメージに配慮し整えることです。



3 プロモーション

地区ならではの特徴を、来街者や商業者に加えて起業家や投資家等にもアピールすることです。



4 経済再生

経済基盤を再活性するため、地域の産業や地域らしさを活かす取組み等と連携しながら、経済活動を多様化し強化することです。



一般社団法人 北海道まちづくり協議会

2022年度 活動報告書

〔発行〕

一般社団法人 北海道まちづくり協議会

札幌市中央区北3条西7丁目-1緑苑ビル2階

TEL.011-232-0926 FAX.011-222-5697

Email : info-ad@kitamachi.org

●お問い合わせ等はEメールでお願いします